



### 稲毛 明 議員

#### 水原郷病院について

**質問** 民営化時期の見通しについて伺う。

**答弁** 職員の雇用不安を払拭するため、早期の処遇を含めた具体的内容・民営化の時期などを確定する必要がある。さまざまな課題を調整、クリアする必要がある。現在最終的な調整作業を実施している。現時点では7月民営化の予定である。

**質問** 委託契約書作成の見通しについて伺う。

**答弁** 協定案がまとまれば指定管理申請書の提出が予定される。それを受け民営化に必要な各種手続きに入る予定である。

**質問** 委託後の診療内容について伺う。

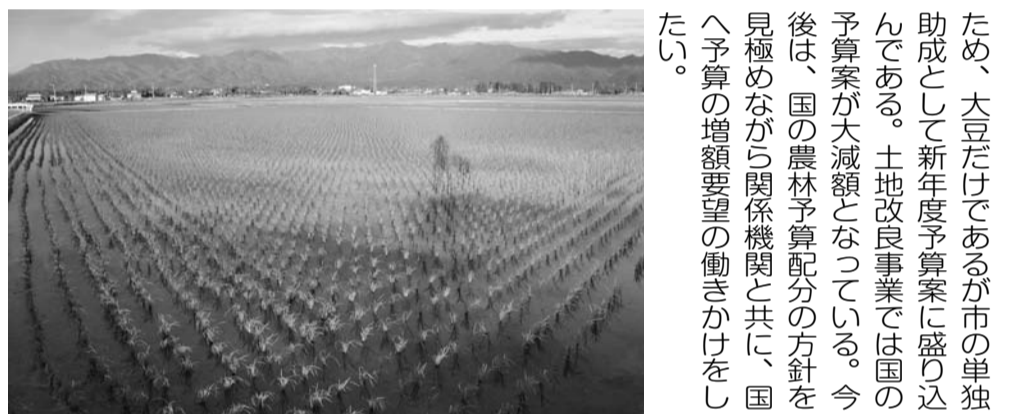
**答弁** 厚生連からの指定管理申請書が提出された段階で具体的な説明の予定である。

#### 障がい者福祉について

**質問** 市身体障害者福祉協議会の現状は、会員の高齢化や会員数の減少傾向から見ると会の存続さえ危ぶまれている。市の対応を伺う。

#### 農業行政について

**質問** 農業つぶしの自公政権の農政に変わるものとして、新政権の農政に一定の期待を集めているが一方で画一的なやり方に不信も高まり是正を求める声も大きくなっている。転作大豆への当市の助成と土地改良事業への対応を伺う。



ため、大豆だけであるが市の単独助成として新年度予算案に盛り込んである。土地改良事業では国の予算案が大減額となっている。今後は、国の農林予算配分の方針を見極めながら関係機関と共に、国へ予算の増額要望の働きかけをしたい。

### 清水 友行 議員

#### 農業行政について

**質問** 米戸別所得補償制度モデル対策の評価、問題と影響について伺う。

**答弁** 米農業を基幹としている阿賀野市としては、品目横断的経営安定対策同様、農業経営にプラスとなるような制度の成果を期待している。その反面担い手農家への農地の利用集積や集落営農等の生産の組織化が後退し、米づくりへの生産意欲が低下する事を大変懸念している。大豆への支援は、本年度は激変緩和が講じられたが、次年度の対応が不透明で大豆生産が確保できるのか心配している。政府の次年度以降の対応を注視していきたい。



大豆加工体験施設

た産業振興と農産物をベースとした六次産業化、バイオマスの推進と展望について伺う。

**答弁** 担い手農家や生産組織の育成を図りながら農林業を含めた産業振興のため、太陽光や生物由来のバイオマス資源を有効に活用し農業・農産物をベースとした六次産業化を農商工連携して積極的に推進したい。

起業意欲のある農業者や生産組織など経営安定のため農産物の販売先の確保などに繋がる業種間と

の仲立ちにも関係機関と連携しながら立ち上げから支援したい。バイオマスの活用について今年中に農林水産省より公表予定の阿賀野市バイオマス構想に基づき、市内で発生する各種バイオマス資源を活用した燃料化、肥料、飼料化などを民間活力による構想実現のため取り組みたい。

**質問** 農村整備事業について伺う。

**答弁** 農業のインフラ整備事業は大幅な予算削減となっており、土地改良事業費が減額されると多くの農家にとっては農業経営に更に大きな負担となり、農家負担軽減のためにも土地改良整備事業は大切であると認識している。建設業には多くの市民が働いているので経営と雇用の安定のためにも、交通の利便性や治水対策など市民生活の安全性を確保する大切な事業であり、予算の増額を国県に対して積極的に要望をしていきます。

### 倉島 良可 議員

#### まちづくり基本条例について

**質問** 『基本条例市民検討会議』も設置され、条例制定にむけスタートしたが進捗状況はどうか。

**答弁** 基本条例は、分権時代にふさわしいまちづくりを、市民と行政がお互いに力を合わせてすすめるため、基本的な事項について定める条例で、新潟大学の先生2名からアドバイザーをいただき、検討を行っています。

**再質問** りっぱな条例ができて、も「仏つくて、たましい入れず」を危惧する。そうならないように具体策を示して欲しい。

#### 保育園の民営化について再検討を!!

**質問** 市立保育園(ほたる、あやめ、京ヶ瀬)3園の整備計画(素案)が示され、平成24年度に民営化スタートと計画されている。その理由づけが、もっぱら財政的な面からのように見受けられ、保育の内容についての吟味が弱い印象

をうけ、保護者の納得のいくものとは考えにくい。また、阿賀野市から公立保育園が消えていくことの影響を考えた場合、再検討すべきと思うが伺う。

**答弁** 適正な保育の確保を優先して計画したもので、結果として財政面に寄与することができ、越えなければならぬハードルは、多々あるものと考ええる。

#### 郷病院存続のために

**質問** 「郷病院存続」の声は、多くの住民の願いであり、地域医療を考えた場合、欠かせない施設であることは論を待たずでもない。公設民営化、厚生連の指定管理も、議論も大事だが実践・決断を下し、存続の道を進めるべきと思うが伺う。

**答弁** 市民の皆様説明し、存続の道を進めたい。

### 山口 功位 議員

#### 郷病院に係る財政問題について

**質問** 本年度も8億円を超える一般会計からの繰出が必要となる。国の政策にも一端の責任はあろうが、これを踏まえて取り組んできたはずである。一向に好転しない改革と民営化の遅れによる赤字垂れ流しの責任は誰にあるのか伺う。

**答弁** 国の公立病院改革ガイドラインを基に公設民営化を進めてきたが、諸般の事情で民営化が遅れ、結果赤字が増加している。医療政策の構造的な問題が起因しており、国の政策転換を期待している。

**再質問** 想定したとおりの答弁しか返ってこないが、市長としての責任は感じていないのか。民営化に向けて、これまで各場面での情報開示の遅れや、不適切発言、議会軽視のやり方に起因している。7月に民営化できなかったらどうするのか。

**答弁** 医師が確保できなかったことが一番の要因である。私は設置者で、経営は管理者であるが経営改革にも限界はある。7月の民営化に向け政治生命をかける覚悟で取り組んでいく。

**質問** 新病院建設のための財源確保に係る事務事業の見直しを指示したとのことだが、その内容を伺う。

**答弁** 人件費が主体の削減内容では不十分ということで、今後10年間を見据えた事務事業の見直しを指示し、また「事業評価プロジェクト」を設置し取り組んでいく。

**再質問** 市民サービスも削ることになるのか。当然市長としての考え方、方向性を示したと思うが、具体的な内容を聞かせてほしい。

**答弁** 個別の指示はしていないが、聖域を設けず、思い切った見直しを指示した。その他の質問

財政状況を踏まえた上での、市長のまちづくりビジョン



市内全域を網羅する「市営バス」市民サービスを維持できるか